

令和3年第1回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和3年1月26日(火)
午後2時32分から午後2時55分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教育長職務代理者 吉川明彦
委員 橋本秀樹
委員 宮崎英子
委員 後藤邦江

欠席者 教育長 向野康雄

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	金子等	次長兼教育総務課長	内藤光重
社会教育課長	奥富悟	学校教育部長	伊藤秀一
次長兼教育指導課長	田中義久	書記	渋谷浩

傍聴者数 0名

報告事項

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた主な取り組みについて

報告者(生涯学習部長)
(学校教育部長)

(要旨)

生涯学習部より、成人式の延期、新型コロナウイルスワクチン接種推進プロジェクトチームの立ち上げ、緊急事態宣言を受けた部所管の屋内・屋外公共施設の休館状況について、学校教育部より、緊急事態宣言に伴う市内公立小中学校の教育活動について、それぞれ報告がなされた。

- ・令和2年度転入教職員と教育委員との懇談会について

報告者(教育指導課長)

(要旨)

12月15日(火)、15名の転入教職員が出席し、狭山市立教育センターにおいて行われた。児童生徒の良さに言及した感想や職場環境、本市の特徴である大型テレビや各教室のインターホンなどの教育環境に関する感想が多くあった。また、年度当初の新型コロナウイルス感染症の防止対策や夏休みの短縮により疲弊したなどの感想もあった。いずれにしても、本市に慣れ、それぞれが持っている指導力等を発揮して、各学校の貴重な戦力として勤務している様子が分

かり、引き続き、本市での活躍を期待する旨の報告がなされた。

- ・令和2年度第1・2回実用英語技能検定結果（中学3年生）について

報告者（学校教育部次長）

（要旨）

第1回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、臨時的措置として設定され、7月25日（土）に1校のみで実施し45名が受験、他の7校は実施を見送った。第2回は10月2日（金）に7校、10月3日（土）に1校で実施し996名が受験し、それぞれの級別の受験者数及び合格状況の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、未受験の理由はとの質疑に、昨年度と同様、不登校状態のための未受験に加え、未確認ではあるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い密を避けたということも考えられる旨の答弁がなされた。

- ・令和2年度スクールカウンセラー活動状況等について

報告者（学校教育部次長）

（要旨）

4月から12月までの相談実件数の累計は、中学校110件で7月までの52件から58件増え、小学校120件で7月までの52件から68件増えている。相談内容は、いじめについて、中学校1件、小学校0件。不登校について、中学校49件、小学校19件となっている。

教育委員からは、不登校については、小学校のうちからその傾向が見られることもあり、引き続き、教育センターの相談員やスクールカウンセラーのご協力をいただきながら、小中学校での対応をお願いしたい旨の要望があり、不登校については決して少ない状況ではなく、中学校においては小学校のうちから、小学校においては幼稚園、あるいはそれ以前から、引き続きその傾向が見られる。また、家庭での考え方が多様化しており、悩ましいところではあるが、保育所等を含めた幼稚園・小中学校の連携した指導や関係機関との情報共有や検討機会を設けることが必要と考えている。不登校をなくし、子どもたちが社会で活躍できるよう、環境づくりや指導の工夫をしていかなければならないと考えている旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係1件、教育指導課関係2件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

以 上